

資料 2

令和5年度 第62回福島県芸術祭主催行事・参加行事について

①重点地区の広域的文化団体が実施する行事

令和6年2月1日現在

No.1

整理番号	行事名	主催者(主管)	開催月日	開催場所	実績	事業内容
1	第62回 福島県芸術祭 開幕式典及び 開幕行事	福島県芸術祭 会津地区 実行委員会	9月3日(日) (11:00~17:00)	會津風雅堂	出場団体数 29団体 来場者数 500名	会津地域の伝統芸能継承に取り組む16団体の未来に繋ぐ取組、また語り部と高校生演劇部のコラボ、町村連携による太鼓の競演など新しい取組も披露。見て触れて食べて会津地域の魅力を一日お楽しみいただける取組となった。

②全県的的文化団体が実施する主催行事

整理番号	行事名	主催者(主管)	開催月日	開催場所	実績	事業内容
2	第90回 記念 福島県美術協会展	福島県美術協会	10月28日~ 11月5日	とうほうみんなの文化 センター	出品点数 246点 来場者数 2385名	洋画(水彩・油彩・版画等)を主とする公募展。審査により入選した力作、大作246点を展示。受賞作品を掲載した、第90回記念美術展画集を刊行する。
3	第59回 福島県彫刻会展	福島県彫刻会	10月28日~ 11月5日	とうほうみんなの文化 センター	出品点数 32点 来場者数 2000名	出品者が昨年より1名多く盛況であった。年々表現力も向上し、観覧者の関心を引きつけており、その関心の高さが会員増に繋がればと願っている。
4	第51回 福島県写真展	福島県写真連盟	11月7日~ 11月12日	とうほうみんなの文化 センター	出品点数 288点 来場者数 1215名	県内最大の写真展。中央より一流写真家、福田健太郎氏を招き一部公開審査の結果、一般の部・委嘱の部合計47名の入賞者が決定した。
5	第77回 福島県合唱コンクール	福島県合唱連盟	8月26日~ 8月27日	ふくしん夢の音楽堂	出演団体 数 86団体 来場者数 868名	中・高・大学ユース・職場一般部門の上位入賞31団体は、東北大会へ、小学校部門の朝日ヶ丘小が全日本合唱コンクール全国大会の県代表に推薦された。
6	第61回 福島県吹奏楽コンクール	福島県吹奏楽連盟	①7月29日 ~30日 ②8月5日~6 日	①けんしん郡山文化セ ンター②いわき芸術文 化交流館アリオス	出場者数 5000人 来場者数 6809名	地区大会で代表として選出された小・中・高・大学・職場・一般の約116団体より全日本吹奏楽コンクール東北大会出場17校2団体が県代表に決定。
7	第55回 福島県三曲連盟演奏 会	福島県三曲連盟	10月15日 (12:00~16:00)	會津風雅堂	出演者数 100名 来場者数 250名	17団体100名により古典から現代曲まで14曲を演奏。会津在住の市民を含め県内各地より来場者を迎え好評のうちに無事終演できた。
8	第40回 福島県「現代吟詠の つどい」記念大会	福島県吟詠家協会	10月28日 (10:00~15:30)	迎賓館辰巳屋 (田村市)	出演者数 192名 来場者数 275名	記念式典にて、昭和から令和の三時代を詩吟と共にした17名の高齢者会員を表彰。記念演出では「故郷は心の中に」を題に構成吟を披露。華道吟・書道吟の演出でも朗詠。
9	令和5年度 福島県吟剣詩舞道 第55回大会	福島県吟剣詩舞道 総連盟	10月29日 (9:00~17:00)	二本松市文化セン ター	出演者数 600名 来場者数 150名	会員600名による発表。①青少年の吟詠(高文祭出場者)②少壮吟士コンクール入賞者の模範吟詠③合吟コンクールの競吟及び各流・会の大合吟が行った。
10	令和5年度 福島県芸術祭第62回 俳句大会	福島県俳句連盟	10月8日 (10:00~15:00)	会津若松 ワシントンホテル	出句数 2112句 来場者数 80名	作品の公募、選考、選評、表彰及び講演を行った。講演は俳誌「子熊座」主宰高野ムツオ氏による、演題「大震災と俳句」。
11	第71回 福島県短歌祭	福島県歌人会	10月15日 (9:30~16:00)	とうほうみんなの文化 センター	出歌数 941首 来場者数 100名	県内の愛好者からの作品を著名な歌誌「新アララギ」編集長の今野英山氏が批評と行い優秀作品を表彰。ジュニアの部にも801首が寄せられ後継者育成に務めた。
12	福島県芸術祭第44回 「詩祭・講演と朗読の つどい」	福島県現代詩人会	10月15日 (13:00~15:30)	南相馬市情報交流 センター	出演者数 15名 来場者数 89名	1.講演「谷川賢作、父俊太郎を語る」講師に谷川賢作氏(作曲家・音楽家・ピアニスト) 2. 相双地区からのメッセージ 3. 6地区の会員による作品朗読のつどい
13	福島県芸術祭 川柳大会 白河	福島県川柳連盟	9月9日 (10:30~ 16:00)	東京第一ホテル新白 河	出句者数 155名 来場者数 35名	事前720句、当日70句の投句を選者8名により事前・当日投句を選考し秀句作品を表彰。昼食休憩時にしらかわ語りの会・白河民舞愛好会のアトラクション。
14	第59回 福島県おかあさん 合唱祭	福島県おかあさん 合唱連盟	10月8日 (10:00~16:3 0)	喜多方プラザ	出演者数 428名 来場者数 34名	26団体430名が出場し互いに練習成果を発表仕合い交流を深めた。荒井一成講師から各団に講評をいただき今後の練習の向上に役立てたい。
15	第37回 ふくしま民謡 のつどい2023	福島県民謡連盟	9月10日 (9:30~15:00)	会津若松市 文化センター	出演者数 279名 来場者数 481名	県内6支部に分け会津地区を中心に、各支部から選び抜かれた民謡愛好者によって、特色を生かし創意工夫を凝らして披露。地元の舞踊団体の賛助出演もあった。

資料 2

No.2

整理番号	行事名	主催者(主管)	開催月日	開催場所	実績	事業内容
16	福島県書作家連盟第39回展	福島県書作家連盟	12月1日～12月3日	とうほうみんなの文化センター	出品者数77名 来場者数240名	書道文化振興のため開催し、特別展として「吾が師は呉昌碩―孫松の世界―」と題し展覧し解説講演会を行った。また図録も作成した。
17	第62回福島県書道協会展	福島県書道協会	11月17日～11月19日	とうほうみんなの文化センター	出品点数714点 来場者数2786名	公募、審査した作品の展示。漢字2字～10字・漢字11字以上・かな・詩文書・一字書・篆刻・刻字・臨書の専門性を尊重。出品点数の減少の傾向を危惧する。
18	第48回福島県観世流謡曲・仕舞大会	福島県観世流連合会	10月9日(10:00～15:00)	いわき市文化交流館アリオス	出演者数40名 来場者数100名	伝統文化の継承を重んじ福島県観世流の謡曲・仕舞を発表。今年は昨年のお津に続き、いわきアリオスを会場に開催した。
19	第39回福島県声楽協会演奏会	福島県声楽協会	10月8日(13:30～16:30)	キョウワグループテルサホール	出演者数18名 来場者数94名	歌唱技術の普及・向上を目的としプログラムに重唱が加わり華やかなステージになった。演奏会に向け大倉由紀枝先生の指導を受け会員の熱意が増した。
20	第49回福島県日本画協会展	福島県日本画協会	9月20日～9月24日	とうほうみんなの文化センター	出品者数50人 来場者数400名	会員が日頃から研鑽を重ね、制作した日本画作品を県内の多くの人に鑑賞していただくために毎年開催。今年は大作も含め130点を展示した。
21	第22回福島県宝生流謡曲大会	福島県宝生流連合会	10月11日(9:30～16:00)	会津能楽堂	出演者数50名 来場者数150名	県内3支部の会員が参加出演した。素謡や仕舞を演じ、互いに交流を深め親睦を図った。
22	福島オペラ協会第13回メンバーズコンサート	福島オペラ協会	12月24日(14:00～16:00)	とうほうみんなの文化センター	出演者数16名 来場者数129名	歳の瀬でかつクリスマスということで客足が心配されたが、当日は130名に近い来場者だった。アンケートの結果、好評とのことで、次に繋がる内容だった。
23	第47回福島県書道連盟展	福島県書道連盟	10月13日～10月15日	とうほうみんなの文化センター	出品点数1129点 来場者数1500名	県内小中高校、大学短大専修学校及び書塾、書会、一般の作品を公募審査し、県知事賞、最優秀賞などの選抜。。作品集も合わせて発行。
24	第35回福島県篆刻会展	福島県篆刻会	9月15日～9月17日	コラッセふくしま	出品者数42名 来場者数150名	実演コーナーの設置、参考品の展示、DVDの放映を実施。連日50名前後の入場があり、実演コーナーは人気で賑わっていた。
25	第47回福島県版画展	福島県版画会	8月23日～8月27日	とうほうみんなの文化センター	出品者数45名 来場者数483名	展覧会中、来場された方々の質問に丁寧に応じる会員の姿や、会員同士が鑑賞しながら、情報交換や制作の苦労話などを交わす姿が多く見られた。
26	第22回定期演奏会 しゃくなげコンサート in福島	福島県ハーモニカ協会	9月11日(13:00～16:30)	ふくしん夢の音楽堂	出演者数135名 来場者数296名	県内14の愛好家団体が参加して、第1部として、アンサンブル30曲、ソロ5曲を演奏。第2部は特別ゲスト Bom×Boalによるミニコンサートを行い好評だった。
27	みちのく阿波おどり 2023in郡山	福島阿波おどり協会	9月16日(14:00～18:00)	郡山駅前西口広場 なかまち夢通り	出演者数200名 来場者数300名	「東北はひとつ」を合言葉に、山形、仙台、東京、神奈川、群馬から阿波踊りの連が集い郡山の街に賑わいを創出し、多くの人々に元気を届けた。

③福島県が実施する主催行事

28	FUKUSHIMA NEXT Creators Challenge 2023 会津若松展	福島県	11月10日～11月12日	スマートシティAiCT交流棟(会津若松市)	応募作品数198点 展示作品数139点 来場者数541名	文化芸術の新たな担い手となる中学生・高校生・大学生・専門学校生から、デジタル機器を活用して制作したアート作品を募集し、展示した。
29	ふるさとの祭り2023	福島県・ふるさとの祭り実行委員会	10月14日～10月25日	アクアマリンパーク(小名浜)	出演団体数17団体 来場者数1万名	原発事故による避難などで、民俗芸能の継承が難しくなっている団体や芸能を披露する機会がない団体などに、発表の場を提供した。
30	国際音楽交歓コンサート2023南相馬公演	福島県・国際音楽交歓コンサート2023南相馬公演実行委員会	9月23日	南相馬市文化会館(ゆめはっと)	来場者数451名	世界で活躍する演奏家が、誰でも一度は耳にしたことのある有名なクラシック音楽を演奏し、クラシック音楽に親しむ機会を提供した。
31	福島県文学賞講演会	福島県・福島民報社・福島県高等学校文化連盟文芸専門部	11月1日	郡山市立中央公民館多目的ホール	来場者数100名 (高校生60名 一般40名)	『同志少女よ、敵を撃て』で本屋大賞に輝いた作家、逢坂冬馬氏を講師とし、創作の心構えや小説を書く技法などを、来場者の質問に答える形式で行った。

入場者数 32,991名